

KU MIE NEWS

No. 13

発行者
神奈川大学三重県宮陵会

発行責任者：会長 林 史昭
編集責任者：事務局長 本田 進
ホームページ：[三重県宮陵会](#)で検索

～～ 会長就任ご挨拶 ～～

林 史昭（昭和41年経済卒）

皆様あけましておめでとうございます。

横浜専門学校、神奈川大学並びに神奈川大学短期大学の卒業生の方々におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素会員の皆様におかれましては、旧「神奈川大学校友会三重県支部」運営にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私こと、

平成26年5月25日開催された総会にて標記会長を拝命致しましたので、遅ればせながら一言就任のご挨拶を申し上げます。

皆様方のご賛同を賜り「神奈川大学校友会三重県支部」は新たに「神奈川大学三重県宮陵会」へ名称変更致しました。初代会長として重責ではございますが、神奈川大学建学の精神「質実剛健」「積極進取」「中正堅実」を価値判断の基準として「三重県宮陵会」発展のため、鋭意尽力する覚悟です。ご周知の通り当会は、如上卒業生相互の親睦を図り、母校並びに宮陵会発展に寄与することを目的と致しまして、この事にご賛同賜りました方々を会員として組織されております。現在までの活動状況は、年1回の「総会」、実施回数40回を超える「交流会」、「駅伝応援」等の行事を通じまして、会員相互の親睦、交流を図ってまいりました。加えて会報「MIE NEWS」の発行は今回で13回を数えております。特に近年、情報伝達手段として若い卒業生の方々へもホームページを開設し、活動情報詳細を公表しております。因みに「一般社団法人神奈川大学宮陵会」発行の平成26年度「地域活動報告書」によりますと、2014年10月時点の三重県総会員数は616名（男子565名、女子51名）、47都道府県の地域活動規模では22番目であります。反面、会報発行数は9地域のみ、ホームページ開設は、10地域にとどまっております。交流会は殆ど皆無に近い地域が殆どです。斯かる状況にあって当会は、トップクラスの活動状況であることを認識致しました。このことは偏に、情報発信、提供の手数をかけております当会理事のご尽力と会員皆様方のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。誠にありがとうございます。願わくは、引き続き如上の活動を継続致す所存でございますので皆様方の積極的ご参加をお待ち申し上げます。

平成26年度・総会報告

○日時：平成26年5月25日(日)

○会場：津市 ホテルグリーンパーク津

本年度の通常総会を、例年通り津駅前「ホテルグリー

ンパーク津」にて宮陵会専務理事 佐藤 武様にもご出席賜り、開催いたしました。

2年毎の改選の年であり、次の様な体制が決定いたしました。

平成26・27年度 役員名簿

役職	地域	氏名	卒年	学科
会長	鈴鹿亀山	林 史昭	昭和41年	経済
副会長	四日市	岡田 孝	昭和44年	経済
事務局長	桑名いなべ	本田 進	昭和48年	機械
理事(会計)	桑名いなべ	早川 淳	昭和55年	機械
理事(広報)	鈴鹿亀山	坂倉 英樹	平成7年	経済
理事	四日市	前田 義文	昭和39年	貿易
理事	四日市	矢野 正剛	昭和47年	工経
理事	鈴鹿亀山	中川 洋久	昭和47年	経済
理事	津	鈴木 良次	昭和40年	経済
理事	津	大西 邦雄	昭和46年	工経
理事	松阪	西山 宏	昭和40年	工経
理事	松阪	飯田 嘉之	昭和42年	経済
理事	伊賀名張	石原 成樹	平成7年	国際
理事	伊勢	宮門 智之	昭和36年	経済
理事	伊勢	間宮 勤	昭和41年	工経
理事	伊勢	伊藤 淳子	昭和56年	経済
理事	鳥羽志摩	石原 一宏	昭和45年	経済
理事	尾鷲熊野	山本 正和	昭和50年	経済
理事	尾鷲熊野	森浦 克好	昭和55年	法律
監事	四日市	奥村 俊雄	昭和54年	応化

昨年に続いて5月中に開催したのですが、他団体の行事が多いようで欠席者が多く、少し寂しい人数での総会となりました。しかし、出席された方は皆さんお元気で、ゲーム・歓談に楽しい時間を過ごすことが出来ました。



会場のホテルグリーンパーク津のお料理は、例年にも増して美味しく立派で、皆さん舌鼓を打ってみえました。「お得な総会」であること請け合いですので、来年はこぞってご参加下さい。

★最近の交流会の報告・・・・・・・・

第37回交流会

- 日時：平成26年7月26日(日)
- 会場：亀山 歴史博物館
- 参加：林 史昭、早川 淳、瀬木 寛、後藤正秀、岡田 孝、井上宇助、本田 進、大西邦雄



内容：今回の交流会は、亀山の歴史博物館で行いました。参加者は8名で、高宮さんの積極的な参加者集めの力をつくづく感じさせられました。

亀山歴史博物館は中々立派な建物で、歴史ある亀山の町を細かく紹介展示されているました。博物館の館長様から特別に歴史をお話頂きました。

第36回交流会

- 日時：平成26年4月27日(日)
- 会場：伊勢神宮
- 参加：瀬木 寛、岡田 孝、奥村 俊雄、林 史昭、西山 宏、石原 一宏、早川 淳

内宮、御垣内参拝

伊勢神宮の内宮では通常、正宮の階段を昇ったところ外玉垣南御門まで、参拝をいたします。その際に正装をされた方々巖かに、外玉垣の中まで入って参拝されているのを見かけることはありませんか？。何か特別な方々のようですが、実は私たちでも出来るんですね。

そこで、今回交流会では、まず神楽殿で御祈禱を受けその後御垣内参拝を体験をしていただきました。一般の参拝者に対して少しの優越感を感じられた巖かな時間でした。

第35回交流会

- 日時：平成26年1月19日(日)
- 会場：鈴鹿市 加藤家(土鈴収集家)
- 参加：井上宇助、大西邦雄、大森芳二、岡田 孝、後藤正秀、下津 勇、西山 宏、早川 淳、林 史昭、本田 進、間宮 勤

今回は、井上宇助(S24経済)様のご紹介で、土鈴の収集家の鈴鹿市・加藤家に伺いました。

加藤由かり様とお母様は、40年以上も土鈴を集めていらっしやって、今では数も数えられないほどのコレクションをお持ちです。また土鈴のお雛様を手に入れられて以降は、昔のお雛様の収集も25年以上続けられています。



当日は、お茶菓子でティータイムをご用意いただいて、お話を聞くことが出来ました。

本来は個人的にお知り合いにだけ、1月末から公開されることを時期を早めて、我々交流会の為に家族総出の2日ばかりで展示していただいた様でした。

由かり様は音楽家ということで、日本の懐かしい曲を中心にミニコンサートもしていただき、最後には皆で「花は咲く」の大合唱をさせていただきました。

その後、白子駅前のすし魚萬で、昼食をいただきながら、次回ならびに今後の交流会の運営についてなど、皆で話し合いを行いました。

第34回交流会

- 日時：平成25年10月27日(日)
- 会場：尾鷲「カフェ天満荘」
- 参加：

尾鷲以外：大森、後藤、中川、西山、早川、林、間宮、高宮

尾 鷲：植村洋、植村陽子、岡本、小野、倉本、中村、山本、森浦

本会計で、松阪からのバスを仕立て、尾鷲地区への訪問しての、交流会を開催いたしました。

会場の尾鷲「カフェ天満荘」は、地区の皆さんが地元活性化のために作られた施設で、元は中部電力の保養所で、景観の良い小高い山の中腹にあります。

高速道路紀勢線の建設が進み、尾鷲までは途中の1区間を残すのみで、松阪駅からはバスでも1時間20分ほどで到着。全線開通となれば1時間ほどと、大変近くなったものです。

